



- 中原洋美 (日本共産党・南区)
 - ・被爆75年 被爆地の責務
 - ・コロナ危機を乗り越え新しい社会を
 - ・就学援助の基準額の適正化
- 今田良治 (自民党・市民クラブ・安佐北区)
 - ・中山間地域のまちづくり
 - ・広島平和記念資料館の観覧料という表現
 - ・有害鳥獣対策
 - ・JR可部線の活性化とまちづくり
 - ・国道54号可部バイパス
- 馬庭恭子 (市政改革ネットワーク・中区)
 - ・新型コロナウイルス感染症によるインパクト
 - ・人にやさしく癒されるまちづくり
 - ・オンライン教育の拡大
 - ・孤立している人を見捨てない政策づくり
 - ・公共工事のあり方
- 渡辺好造 (公明党・南区)
 - ・被爆75周年における平和の取組
 - ・魅力的な里海の実現に向けた水産振興策の推進
 - ・子どもの見守り強化アクションプラン
 - ・新型コロナウイルス感染症に伴う児童生徒の「学びの保障」
 - ・新型コロナウイルス感染症を踏まえた災害時の避難
 - ・広島県と広島市のトップ会談
- 山路英男 (自民党・市民クラブ・東区)
 - ・行政施策の実施に当たっての土業の活用
 - ・広島市職員の兼業
 - ・犯罪被害者等支援条例の制定
 - ・乗り合いタクシーの導入

中山間地域のまちづくり

中山間地域が主体となり、地域資源を活用したまちづくりにどのように取り組んでいこうとしているのか。

本市地域の半分以上を占める中山間地域のまちづくりは、自分たちでできることは「自助」「共助」で、地域では解決できないものは「公助」で行うといったことを基本にしながら進めていくことを理想と考えている。

今後とも、地域と行政との役割分担と連携の下、地域資源を活かした持続的なまちづくりの実現に努めていく。



国道54号可部バイパス

未整備区間の大林ランプから上根バイパスへの接続を早期に進めていただきたい。

国の考え方を確認したところ、未整備となつている上根バイパスへの接続区間の事業の必要性や重要性は変わらず、調査・設計など切れ目なく進めたいと考えている。また、工事着手時期は今年度予定している国道191号以南の4車線化開通後の交通状況を確認しながら検討していくことであつた。

介護崩壊を防ぐ仕組み

福祉施設でクラスター感染が起きた場合に、ヒト、モノ、情報をマネジメントする仕組みが必要である。どのような仕組みで動かすつもりか。

保健医療と福祉の部門が連携して情報収集や国・県との連絡調整にあたり、関係部局等との情報共有、支援策検討を行った。合わせて県による医師等の派遣やクラスター対策班の派遣要請により、現地で専門的知見を踏まえた支援が行えるよう努めた。さらに、職員の体制づくりや衛生資材確保にも取り組んだ。

こうした取り組みを基に施設の特性や他自治体の事例等も考慮し、適切に対処する。



急なルート変更の無駄

湯来線の天皇原トンネルのルート変更は突然で驚いている。用地取得費、工事事業費はいくらかかったのか。短い区間も工事をしていて、ルート変更しなくてもよいのではないか。

これまで要した費用は約6億円である。ご指摘の工事はトンネルへのアクセス道路として整備したが用地協力が得られず当初目的に沿った利用は見込めなくなった。しかし、この道路は地元要望により整備する多目的広場へのアクセス道路等として活用予定が無駄になることはない。

来広できない人々への配慮は？

新型コロナウイルス感染症により事業を予定通り実施できず、国内外の市民が広島に来ることができない状況においても、世界の人々に被爆の実相に触れていただき、ヒロシマの心を発信できるよう知恵を絞る必要があると思うが、どのように考えているのか。

さまざまな方によるビデオメッセージをオンライン発信するほか、オンライン平和教育セミナーなど若い世代に平和のバトンを渡す取り組みも強化したいと考えている。



魅力的な里海の実現を！

魅力的な里海の実現に向けて、海と川でどのような水産振興施策に取り組んできたのか。また、新たな水産振興施策について、今後、どのようなことに取り組んでいくのか。

カキの採苗の安定化や海底耕うん支援、高付加価値の水産物をつくり育てる取り組みやブランド化による消費拡大を図っている。川では、アユの産卵場造成やジミの母貝保護等の資源増殖に力を入れてきた。今後、持続可能な漁業を確立するため水質環境確保や資源管理の取り組みをさらに進めていく。

土業の活用を！

施策の検討段階で土業の方に事前に相談し、申請方法の簡素化を図り、実施後には土業の方の事前審査を認め、受け付け業務の効率化を図ったかどうか。

本市の施策展開に専門的知識を有した土業の方を活用することの重要性は、これまで以上に高まっていると考えられ、このことは民間ノウハウの活用により、複雑化・多様化する市民ニーズに対応していくという、本市の「行政経営改革」が目指す方向性とも一致する。

今後とも、施策の検討段階や実施段階を問わず、土業の方のさらなる活用に努めていきたい。



犯罪被害者等支援条例の制定を

犯罪被害者等が苦慮している状況を早急に解消し救済するために、犯罪被害者等支援条例の制定を検討してはどうか。

総合相談窓口の設置、市営住宅への優先入居、状況に応じた保健医療や福祉サービス提供などの支援を引き続き確実に実施しながら、国との役割分担の下、社会全体で犯罪被害者等の支援に取り組むため、条例の制定を視野に入れた機運の醸成を図っていく。

用語解説

本文中に赤表記した用語を解説しています

サーモグラフィ

物体から放射される赤外線を分析し熱分布を図として表し可視化、分析した画像、またそれを行う装置のこと。医療では体表面の皮膚温度分布を測定し、それを色分布などで画像化して乳がん、手足などの血流の低下などの診断に用いられる。また電力設備の異常温度部位の検出、建築分野における構造物中に存在する欠陥部の検出等にも利用される。

ワンストップサービス

行政機関にとどまらず、官民複数の部署・庁舎・機関にまたがっていた手続きを、一度にまとめて行えるサービス

クラスター感染

クラスターとは、もとは「同じ種類のものが集まって作る群れ」という意味。政府が2月25日に決定した「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」で、特に「患者集団」を指す言葉として登場した。

海底耕うん

泥や有機物などが堆積して生物の生息環境が悪化している浅海域の海底や、泥が固くなった干潟などを、畑を耕すように掘り起こし、砂泥中に酸素を供給して底質を改善すること。

議会トピックス①

新型コロナウイルス感染防止策の新たな取り組み

議場における新型コロナウイルス感染防止策として、議場内の演台に飛沫を防止するためのアクリル製の衝立を設置しました。

5月以降は、出席議員にマスク着用をお願いしていましたが、設置後は演台での発言に限って発言者はマスクを外すことができる取り扱いとしました。

このほか、傍聴に来られた方に間隔を空けて座っていただくため通常75席ある傍聴席数を26席に減らすなどの対策を講じました。



アクリル製の衝立



席数を減らした傍聴席

令和2年第4回定例会一般質問の様子は市議会ホームページからご覧になることができます！

市議会ホームページ>議会中継>本会議録画中継>令和2年第4回定例会または市ホームページ>■ページ番号でさがす 163383

